納税はくらしと市政を結ぶ糧

高齢者の豊かな経験と能力を生かしています

大館市シルバー人材センター

仕事はいろいろ
雪おろし・大工作業・一般事務…

〝高齢者の豊かな経験と能力を生かします〟――をスローガンに、昨年十一月一日に発足した「大館市高齢者事業団（昨年十二月大館市シルバー人材センターに移行）」は、いま雪おろし作業や大工仕事、事務の補助などの仕事におわれています。

大館市高齢者事業団は、働く意欲のある高齢者の方のために「生きがい・健康増進・収入・仲間づくり」を目的として昨年十月一日に設立され、そして、十二月二十七日には社団法人大館市シルバー人材センターとして発足しました。

大雪で雪おろし作業大忙がし

市、老人クラブ連合会、高齢者協議会は、これからの高齢者に応えるため、昨年二月高齢者事業団の準備委員会を設置しました。委員会で事業所や高齢者の方にアンケート調査を行なったところ、仕事を提供できるという事業所が約一〇%あり、また約二〇%の方が働く意欲を持っていることがわかりました。

そこで委員会では、会員を募り、十月一日に会員二百十人で大館市高齢者事業団を設立しました。

設立後三カ月間の実績を見てみると、十月は大工仕事、事務の補助など九件（就労延べ人員七十二人）、十一月は冬囲い、事務の補助など三十六件（延べ人員九十一人）、十二月は毛筆筆耕など三十件（延べ人員九十人）、そして今年一月は雪おろし作業やポスター張りなどとなっており、日ごとに忙しさが増してきています。

大工仕事は、お手のもの

会員になりたい方は

一月二十日現在の会員数は、男二百一人、女四十四人の計二百四十五人です。自分の経験や能力を生かしたいと考えておられる方で、ほぼ五十五歳以上の健康な方ならだれでも会員になれます。申し込みはシルバー人材センターへ。

こんなときご相談を

教育指導、大工作業、一般事務、草とり、雪おろし、子守りポスター張り、筆耕……どんな小さな仕事でも結構です。ご相談ください。

◆会員になりたい方、または仕事のご依頼は、社団法人大館市シルバー人材センター（城南保育園二階）へ　事務局・桜町南　☎49―1579

期待される新エネルギー開発

船舶の動力源として帆走タンカーや帆走商船など〝帆船復活〟のアイデアが、次々と名のりをあげています。

また、陸上でも風エネルギーの利用研究が着実に進められています。科学技術庁では石川県金沢市、群馬県安中市、愛知県武豊町の三地点に五機種の風車を取り付け、養魚水槽用熱源としての利用、電気自動車の充電、メロンやトマト栽培用の温室の暖冷房に実用テストを行ない、有効に利用できることを実証しました。

このほか、離島や山奥でも風エネルギーの活用が考えられ、東京電力や国鉄でそれぞれ計画を進めています。

このように、風力は将来を期待されるエネルギーのひとつですが、難点は〝風まかせ〟で、安定供給ができないことです。

風の強弱が一定していないので、電力化できるのは約一六%で、無風時に備えるために電力を貯蔵するバッテリーも、いまのところ高価で場所をとるなど改善の余地は残されています。

このため風車の回転力を利用して熱を発生させ、その熱を貯蔵する方法も研究されています。この方法ですとエネルギー量も火力発電並みになり、使いやすくコストも安くなることが期待できます。

多目的研修施設を建設中
―真中公民館隣に

市では、真中公民館の西側に多目的研修集会施設を建設しています。

この施設は、スポーツ施設を利用して林業従事者のコミュニケーションと、林業に関する学習と認識の向上、そして地域住民との交流を目的として建設しているものです。

同施設は、八畳と十畳の研修室と、五百九十平方㍍の鉄骨造り平家建ての集会兼スポーツに使える施設となっています。総工費は七千二百七十万円で、このうち約半額は国の補助です。

この施設は、いま外装工事をほぼ終え内装工事が、いま急ピッチで進められており、今年三月中旬には完成の予定になっています。

市長のメッセージ

No. 25

市民の皆さん、今冬は例年に比べて雪が多く、北陸、東北各地で被害が続出しております。今後も降雪は続くとのこと油断はできません。市民みんなの力で、ひとつの事故もなく、この厳しい冬を乗り越えようではありませんか。

安全で健康な市民生活を

一月中は市内各地で、多種多様な新春行事が行われました。好天に恵まれた元旦には、市旗を掲げて約六十人の市民が鳳凰山へ元旦登山。早朝、しかも雪をラッセルして頂上へアタック。市民の繁栄と安全を祈願していただきました。また、元旦マラソンも行われ、三百人を超える市民が健康づくりにさわやかな汗を流されました。

この二つの元旦行事は、健康な体力づくりのためと、年々参加者が増えており、誠に喜ばしい限りです。

そしてまた、六日には恒例の消防出初式、さらに九日には交通指導隊の初出式と、無災害と交通安全を祈願していただきました。

このように多くの方々による祈願に対し、市民ともども感謝を申し上げると共に、安全で健康な市民生活のために、私自身、最善の努力を注ぐ所存です。

今年は国際障害者年

昭和五十六年――今年は「国際障害者年」です。これは五十一年の国連総会で決定されたもので、障害をもつ人の〝完全参加と平等〟をテーマに、みんなが平等に暮らせるよりよい社会づくりへ向けて、世界的規模の行動を起こそうという年です。

「参加」とは、障害者が単に社会生活に参加するということだけではなく、各分野で社会の発展に貢献することを意味し、「平等」とは、障害をもつことによる全ての面でのハンディをなくし、一般人と同じ生活を送ることができることにあると思います。

障害という問題は、その人自身にあるのではありません障害者個人とその社会環境との関係から生まれる――と考えるべきであり、特殊な問題として取り扱うことなく、社会全体で考えるものだと思います。

国際障害者年にあたり、市民の皆さんとともに参加と平等について改めて考え直すとともに、福祉の心を全体にひろげて行きたいと思います。

畠山健治郎

国民年金だより

◆国民年金の請求は早めに

国民年金を受ける資格ができても、ご自分で請求しないと、年金は受けられません。

もし、あなたが次のどれかに該当すると思ったときは、すぐに市役所市民課年金係に照会して、早めに請求の手続きをしてください。

▽六十五歳になったとき　老齢年金、通算老齢年金
▽障害者になったとき　障害年金
▽母子家庭になったとき　母子年金
▽祖母と孫の家庭か、姉と弟妹の家庭になったとき　準母子年金
▽孤児になったとき　遺児年金
▽寡婦になったとき　寡婦年金

◆保険料は所得から控除されます

国民年金の保険料を支払った人は、自身の分はもちろん、家族の分も「社会保険料控除」の扱いをうけ、全額が前年の所得から差し引かれて、課税の対象になりません。

このため、二月十六日から三月十五日まで行う所得税の確定申告の際には、昭和五十五年中に納めた国民年金保険料の控除の手続きをしてください。

また、昨年六月三十日まで実施された特例納付の保険料についても同様です。